

議案第26号

反対

【日本共産党】

選挙公約が新年度予算に反映されていない。2期8年市政運営したが、市民生活に独自の見解を示せない。待機児童が減る見通しはなく、介護施設整備も不透明。東後楽会館の閉鎖、厳しい税徴収など高齢者や弱者に冷たい。大規模事業のしわ寄せは各分野に及ぶ。おごらず真摯な市政運営を。

賛成

【公明党】

公明党議員団として平成29年度予算編成においては、経済状況が穏やかな回復基調とはいえ、税収の伸びに対して基礎的経費の増加が見込まれ大変厳しい財政事情も考慮する中で、市民の声を反映し市長3期目の経験を活かし、東京五輪の開催、市制施行百周年という歴史的行事も見据えた積極的な取り組みが見られ、高く評価する。

賛成

【自由民主党】

厳しい財政状況にあっても、経費の見直しや積立基金の活用により、待機児童対策や子育て世代の支援、教育環境の充実、都市基盤整備など、市民生活や市民要望に積極的に応えた予算である。また、今回から予算の概要の資料については、市民に大変分かりやすく改善した。限られた財源の中、多様化する市民サービスの充実を図ろうとする予算を編成したことは、高く評価できる。

賛成

【やまぶき会】

平成29年度予算は課題の解決に向けた予算配分だけでなく市民要望にも目を配り更には、本市の将来の発展を視野に入れた積極的な予算であると評価する。継続的に発展していくためのまちづくりに健全な行財政運営は欠かせず、今後市長の行財政改革への取り組みも期待し賛成討論とする。

市政に関する一般質問

今定例会では、21名の議員が一般質問を行いました。

会派名 議員氏名
一般質問の表題
質問の番
順

問
 答弁者
 ※ (質問の要約)

答
 (答弁の要約)
 ※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の開覧
 【今定例会の会議録】
 議会ホームページ、または図書館等で5月下旬頃から閲覧できます。
 【閲覧場所】
 図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口(東庁舎)

やまぶき会 小高 浩行
産業工業と観光の相乗効果

問 上里カンターレのような工場見学と飲食・物販・娯楽等を併設した施設を誘致することによる産業と観光の相乗効果に対する市の見解は。

答 産業観光部長 上里カンターレのような事例は、新たな観光資源の一つとなり、また、市内産品の販路拡大につながるなど、産業と観光の両面において高い相乗効果が期待で

きるものと考えている。本市においても、首都圏中央連絡自動車道を利用した観光客がますます増加するものと思われるが、これらの観光客を呼び込み、市内産業の振興を図るモデル的な事例として参考にしたいたいと考えている。

- 放課後子ども教室
- 山田地域の防災対応

無所属 小林 薫
初雁球場の移転新築
 2

問 初雁球場を移転新築し、プロ野球の試合ができる施設を造りたいと発言しているが、どういふことか。

答 市長 「プロ野球が呼べるような野球場を造ります」という考えのもと、いつ、どこに、どのような物を造るか、具体的な点については、これから検討する。

どうかは、さまざまな条件によって違ってくることであるが、造る気事業を進めていきたいと考えている。



公明党 近藤 芳宏
市東南部の回遊ルート創出
 3

問 新河岸駅周辺地区整備に伴い、利便性の向上が図られることから、新河岸川など地域資源を生かした回遊ルートの創出についての考えは。

答 産業観光部長 新河岸川流域には、河岸跡や市指定文化財である蓮光寺の総門など地域資源があり、舟運の実施に当たって課題はあるが、新河岸川を活用したルートの創出が考えられている。

また、小江戸川越みどころ90観光コース及び川越百景コースガイドでは、新河岸川周辺を徒歩でめぐるコースを紹介している。既存のコースに新たな観光資源と新河岸川の活用を取り込むことで、回遊ルートの創出が図られると考えている。

- 市東南部地域の活性化
- 自転車活用まちづくり